

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
47201那覇市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	これまで、市内53校区中、1校区で地域学校協働活動を実施。今後、市内全校区で協働活動が実施できるよう展開していくためには、学校支援ボランティアの確保が課題である。	学校に地域学校協働活動推進員を配置し、地域人材の情報を収集・名簿化してボランティアを確保していた。	・地域学校協働活動推進員の配置を1名から3名に増員し、新たに地域学校協働活動を実施する学校区の学校支援ボランティアの確保を図る。 ・推進員同士の連絡会を半年に1回程度実施し連携を図る。	推進員を増やし、推進員同士で連携を図ることで、学校支援ボランティアの情報収集が強化され、学校支援ボランティアの確保につながる。	新たに協働活動を実施する学校区における学校支援ボランティア数(延べ)	0	人	142	391	05 本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した。 ・新たに2校に各1人の推進員を配置したことにより、学校支援のボランティアを増やすことができた。 ・多くの地域人材の中から学校の要望に応じてボランティアを調整し、適切な人材を充てることができた。 ・次年度は推進員を配置する学校を更に増やし、取組の拡充を図る。また、各推進員間の連携を図り、地域人材の共有ができる体制を構築し、継続的に協働活動が行えるよう推進する。	
47201那覇市	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	放課後に自宅で過ごす小学生が一定数おり、放課後の子どもたちの過ごし方として、地域等との関係性の希薄化が課題である。	令和5年度は、30小学校区41教室で放課後子ども教室を実施したが、6小学校区で未実施となった。	全小学校区で放課後子ども教室を実施するため、未実施校区を中心に、放課後子ども教室推進事業についての説明を行うなど周知に務め、関係者・関係団体等に対し協力を求める。	子どもたちに対して、学習支援やスポーツ、伝統文化活動、地域住民との交流活動など、多様な学びの機会を提供することで、安全・安心な放課後の居場所づくり、および子どもたちの健全育成に寄与する。	子ども教室へ参加している児童生徒数。(延べ人数)	4757	人	5904	4527	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる。 昨年度より2小学校区増の32小学校区で放課後子ども教室を実施し、各教室で学習支援やスポーツ、文化活動、交流活動等の多様な活動の機会を提供することで、放課後の安全・安心な居場所づくりに寄与することができた。 参加した児童からは「新しいことを知ることができた」や「他学年と知り合う機会になった」との声が上がり、放課後子ども教室を実施したことで、安全・安心な活動拠点の確保に一定の効果が得られた。 しかし、事業の周知不足から参加児童生徒数が伸び悩み、目標の達成には至らなかった。 今後は、市内全小学校区で放課後子ども教室が実施できるよう、教室運営の支援員等の確保に努めるとともに、学校や保護者のみならず、地域に向けても積極的に事業の周知を図り、子ども教室がより多くの児童生徒の居場所となるよう努める。	

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。